

平成15年10月14日

マーケットスピード バージョン4.1リリース
～逆指値第一弾！ 株価指数先物・オプション取引に対応～
（10月20日より）

インターネット・トレーディング専門の証券会社、ディーエルジェイディレクト・エスエフジー証券株式会社（代表取締役：國重惇史、本社：東京都千代田区；以下「DLJ」）は、リアルタイム株価自動更新ソフト「マーケットスピード」の新バージョン4.1をリリースいたします。10月20日よりスタート予定。

このたびの新バージョンでは、逆指値注文を導入し、その第一弾として株価指数先物・オプション取引への対応を行いました。また、テクニカル指標充実化への第一歩として、各テクニカルチャート画面での指標数値の表示を開始しました。

さらに、株価指数先物・オプション取引の複数注文同時発注機能、株式新聞速報ニュースの導入、信用取引関連情報の強化、信用取引発注系画面の利便性向上など各種機能強化を実施し、一層取引に役立つ内容が充実しています。

1. 逆指値

新規注文、および、転売・買戻注文時に、通常の注文に加え、逆指値を用いた2通りの発注方法が可能になります。（詳細は添付資料をご覧ください）

① 逆指値注文

条件として、価格が XX 円以上あるいは XX 円以下になると指値あるいは成行で発注される注文

② 逆指値付通常注文

通常注文と逆指値注文の2つを発注することができる。

まず、通常注文が市場発注されるが、約定前に逆指値で指定された条件にヒットすると、通常注文は逆指値として指定された注文に訂正される。

2. テクニカルチャートでのテクニカル指標数値の表示

全テクニカルチャートにおいて、最新のテクニカル指標数値を同時表示。これにより、売買判断ポイントがわかりやすくなります。

例えば、一目均衡表では、「転換線、基準線、先行スパン1・2、遅行スパン」、ボリンジャーバンドでは、「TP、TP±σ、TP±2σ」の値、ポイント&フィギュアでは、「売転換値、買転換値」などを表示。

3. 新しい投資情報の提供

- ① 株式新聞速報ニュースを導入（100～120本／日）
- ② 時系列情報日足に日証金残、貸借倍率を表示
- ③ 時系列情報週足に信用倍率を表示

4. 信用取引一括返済、一部返済の利便性向上

5. 株価指数先物・オプション取引の機能強化

- ① 先物・オプションプライシングモデルの強化
- ② 建玉・手口情報の過去データ閲覧対応
- ③ 投資戦略に基づいた複数同時発注機能
- ④ 一括取消機能

D L Jディレクトは、1999年3月に設立され、同年6月11日よりサービスを開始した日本初のインターネット・トレーディング専門の証券会社です。CSFB*direct* Asia Holdings Inc.、三井住友銀行、インターネットイニシアティブ、住友商事、住友生命保険、三井住友海上火災保険、住友信託銀行が株主となっています。